※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　地歴公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（東京法令出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は社会全体に起きている問題や課題、倫理的な事まで網羅している科目です。日々のニュースや出来事など、テレビ・インターネット・新聞などのメディアに目を通しておく事が大事です。また、色々な事に興味・関心を抱き、「今、日本や世界では何が起きているのか」ということを知り、「なぜその事象が起きているのか」という、探求心を持つことが大切です。
・学習方法等は、初回の授業のガイダンスやその都度指示をしますので、毎回の授業にしっかりと出席をして聞いておくようにしてください。

２　学習の到達目標

・学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身に着ける（知識・技能）
・課題の解決のために自ら考え判断する能力を身に着けることを目指す。（思考・判断・表現力）
・主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。（学びに向かう力、人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各学習単元の諸課題を理解し、その知識を身につけている。	各学習単元の諸課題を見出し、それらを多面的・多角的に考察し、様々な立場から公正に判断をし、学習内容の過程や結果を適切に判断している。	各学習において、積極的に取り組み、授業内においての話を聞く態度や発問への応答ができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　第1章「公共的な空間をつくる私たち」	・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解します。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解します。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現します。	a:自分自身が公共的空間の主体者となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成について理解する。 選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解する。 b:地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることにおいて多面的・多角的に考察し、表現すること。 c:よりよい社会の実現を視野に現代社会を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

	第2編 「よりよい社会の形成に参画するために」	・法や規範の意義及び役割について理解します。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。	a:法、政治などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識・技能を身につける。 b:法、政治を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり、構想したりしたことを論拠をもって表現する。 c:法、政治についての関心を持ち、また関心を持った事柄について調べ、公共空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
2学期	第2編 「よりよい社会の形成に参画するために」	・経済活動と経済主体、市場経済の機能と限界について理解します。 ・現代の企業の在り方と課題を理解します。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。	a:日本経済の成長してきた経緯を踏まえ、今後の展望について理解している。 需要曲線を読み取り、価格が決定するメカニズムや市場のメカニズムを阻害する独占、寡占について理解し、またこれらを規制するための法律や仕組みについての知識を習得している。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

		・中小企業、農業問題、公害の防止と環境保全、エネルギーと循環型社会などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・日本経済の諸課題について、政府は法律の制定や政策の実施によって、課題解決に向けてどのような役割を果たしているか理解します。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 ・消費生活、労働問題、社会保障に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論します。 ・国家主権などに関わる現実社会の課題について理解します。 ・核兵器の廃絶などの国際平和に向けた取組みについて理解します。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。	b:職業のあり方が産業構造の変化とともに変わることを念頭に、自らが就労する近い将来を見据えて、働くことの意味を表現できる。 市場のメカニズムを用いて、「コロナ禍でのマスクの高騰」などの実際の経済現象を説明できる。 c:働くことの意味について思考し、経済的主体としての自覚を深めている。 公害や気候変動などと関連付けて、市場経済が招く倫理的な問題について思考している。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※令和４年度以降入学生用

3 学 期		・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解します。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けます。 ・EU や USMCA などの地域統合の進展などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・南北問題や新興市場国などの国家間格差などに関わる現実社会の事柄や課題を理解します。 ・地球環境問題をはじめとする地球規模の諸課題に関わる現実社会の事柄や課題を理解します。	a:国際経済の関係性について理解し、今後の展望について認識している。 現実社会の諸課題を理解し、取組や自身にできることを実践するための素養を養う。 b:国際問題や地球環境問題を自身に関係する問題としてとらえ、その在り方を説明できる。 c:現実社会の諸課題の背景、構造を理解し、その解決に向けた取組や解決への壁となっている事柄について思考している。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度